

第27回

国民の医薬 シンポジウム

主催 第27回国民の医薬シンポジウム実行委員会

午前の部 (10:00~12:00)

講演

HPVワクチンと医療界、学会、 ジャーナリズムの在り方を問う

~その深淵にある時代の潮流とは~

講師 齋藤 貴男 氏 (ジャーナリスト)

午後の部 (13:00~16:15)

シンポジウム

HPVワクチン薬害問題

~因果関係、被害実態とその原因の科学的解明~

報告① HPV薬害訴訟の争点について -弁護団より訴訟経過報告

報告② 薬害の因果関係に関する科学的解明とは -HPVワクチンを通じて- (仮)

別府 宏圀 氏 (NPO法人 健康と病いの語りディベックス・ジャパン理事長、薬害オンブズパーソン会議副代表)

報告③ HPVワクチン薬害被害に対してジャーナリズムの取るべき立場、態度とは (仮)

隈本 邦彦 氏 (江戸川大学マス・コミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科教授)

日時 2018年 **12月16日** 日 10:00~16:15

会場 **全労連会館** 2階ホール 参加費 **1,000円** (学生無料)

報告集 1,000円 (希望者)

申込み
問合せ先

国民の医薬シンポジウム実行委員会

TEL: 03-5842-6451 FAX: 03-5842-6460 (実行委員会事務局)

申込は裏面申込書をご記入の上
FAXにて申し込みいただけます。

第27回 国民の医薬シンポジウムへのお誘い

第27回国民の医薬シンポジウム実行委員会

午前の部 講演

HPVワクチンと医療界、学会、ジャーナリズムの在り方を問う ～その深淵にある時代の潮流とは～

講師 斎藤 貴男 氏 (ジャーナリスト)

午後の部 シンポジウム

HPVワクチン薬害問題 ～因果関係、被害実態とその原因の科学的解明～

HPVワクチン接種によって全身の疼痛、知覚障害、運動障害、記憶障害等の深刻な副作用被害が発生し、2013年4月に定期接種となったわずか2カ月後に、国による積極的な接種勧奨が一時中止されましたが、被害者は増え続け、今なお苦しんでいます。2016年7月には、国と製薬会社2社に対して集団訴訟が提訴され、因果関係をめぐって法廷で争われています。

一方、積極的勧奨が中止されて5年が経過する中、現在のHPVワクチン接種率は1%を下回り、医学界からは接種勧奨再開を求める声が広がっています。

今回のシンポジウムは、HPVワクチンをめぐる医療界、学会、ジャーナリズムのありかたを焦点に、訴訟の現状、薬害の因果関係に関する科学的解明についても理解を深めていきたいと考えます。

参加費

できる限り12月5日までに事前に申込みください。

1,000円 ※当日支払い (学生無料)

報告集 1,000円 (希望者)

昼食は各自ご用意ください。

申し込み・問合せ先

お申し込みはFAXまたはホームページからも可能です。

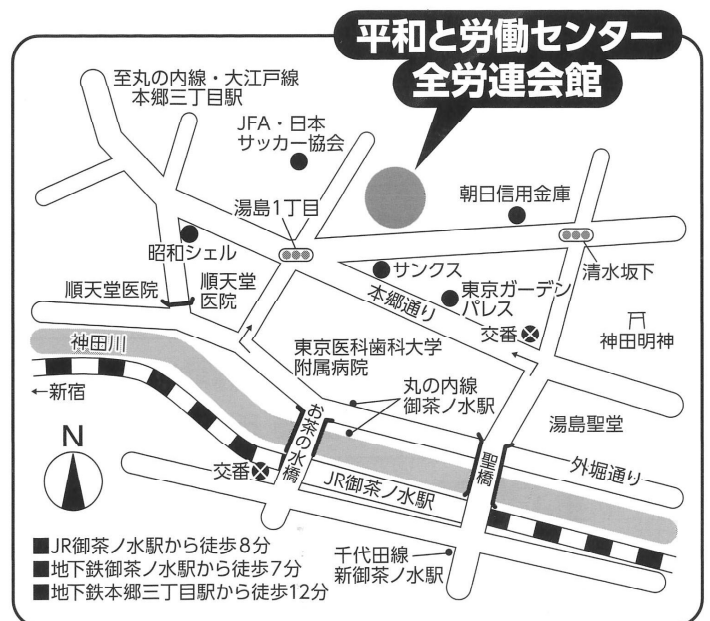
TEL: 03-5842-6451 (実行委員会事務局)

FAX: 03-5842-6460

会場

〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4

平和と労働センター 全労連会館 2階ホール



事前申し込み FAX: 03-5842-6460

申込日 月 日

氏名

電話

()

職種

男 女

報告集を
希望する

送付先

(〒 -)

備考